

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	2階、3階グループホームフロアの玄関をカードキーで施錠している。行動制限になる為、日常的に施錠をしないように開錠する時間を設ける。	開錠する時間を設け、少しずつ開錠している時間も長く設けるようにする。	まずは30分から開錠時間を設けてみる。その後、時間を増やして開錠していく。	1ヶ月
2	23	ゲストの思いや意向を確認し、毎日の日常記録には記録をしているが、記録をさかのぼらないと分からない事も多い。	誰が見てもわかりやすく、ゲストの思いや意向がわかるような物を作成し、介護計画にも反映させる。	思いや意向を日常記録だけでなく、書き留める物を作成し、いつ、どのような思いを持って過ごしておられるのかがわかりやすいようにする。	6ヶ月
3	26	ゲストがグループホームで生活をするにあたり、地域で出来る事を考えていく。	ゲストが地域で活躍出来る事を探し、ケアプランに盛り込み、目標として実行していく。	地域で活躍出来るが何かを検討する。	3ヶ月
4				検討後、プランに盛り込み、実行していく。	8ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。